

(仮称) 新潟市文書館の事業について

事業の種別	現状	開館年度 (令和3年秋～年度末)	次年度以降の方向性 (令和4年度～)	中長期的課題など
特定歴史公文書の保存・利用	<p>○閲覧・複写サービス(要綱に基づく市民サービス)</p> <p>○行政文書の評価選別、保存</p>	<p>○温湿度管理</p> <p>○閲覧・複写サービス(条例に基づく市民サービス) 利用決定に不服→審査請求可</p>	<p>○各実施機関が文書の移管、廃棄措置を決定する際に助言</p>	<p>・継続的な環境対策(虫害など)</p> <p>・専門職員の持続的な確保 評価選別作業は、アーカイブズ研修Ⅰ修了者や経験豊富な人員が必要。(将来的には公文書館法の求める専門職員)</p>
歴史資料の収集、調査研究	<p>○収蔵する歴史公文書等に関する研究</p> <p>○地域資料所在確認調査及び寄贈・寄託資料の事前調査</p> <p>○各種講座、刊行物への掲載等のための新潟市の歴史に関する調査研究</p>	<p>郷土史研究団体等との連携の検討</p>	<p>○各種調査研究の成果として、『(仮)新潟市文書館研究紀要』(年1回)の発行</p>	<p>・歴史研究の成果を継続的に各種の講座や刊行物で発表し、将来的な歴史編さん(例:市制150周年記念 新・新潟市史)へ繋げていく</p> <p>・郷土史研究団体より地域資料調査員制度の提案あり</p>
歴史編さんと情報発信	<p>○講座:古資料が語る新潟の歴史講座(年4回)</p> <p>○市報の歴史コラム</p> <p>○歴史資料だよりの発行(年1回)</p>	<p>○講座:開館プレ歴史講座(夏)、開館記念講演会</p> <p>○常設・企画展示:文書館(アーカイブズ)とは、新潟市の歴史(概要)、小学校校舎を改修した文書館地元地区の歴史</p>	<p>○歴史資料に関する講座開催 文書館内ほか、外部会場で規模を維持して開催</p> <p>○資料整理ボランティア等の育成に繋がる古文書整理や文書館関係講座</p> <p>○企画展示(年1～2回)。その他資料公開室の展示ケースで収蔵品展示(展示替え)。</p>	<p>・資料整理ボランティアの継続的な育成と活動、郷土史、各地の古文書を読む会などとの関係構築</p> <p>・必要な予算の確保をはじめ、展示のできる専門的知識・経験を持った人員の確保。</p>
資料の公開・活用の促進、調査研究の支援	<p>○資料閲覧に伴う資料の複写サービス。</p> <p>○来館・メール・電話等で寄せられる新潟市に関する質問等についての照会対応(調査相談)</p>	<p>○目録検索システムの整備・運用 ※予算要求中</p>		<p>・新しい所蔵資料情報等の更新や、文書館としての情報発信が恒常的に求められる。</p> <p>・文書館の立地条件を踏まえ、時間・場所を問わず市民が資料を検索できる体制整備が必要。市民団体からも強い要望。</p>